

3 コーナー設置の工夫

児童生徒の実態に合わせた事柄や、時事問題、各教科等との連携など、さまざまなテーマでつくられる「コーナー」。本と子どもが出合う、大切な場となっていますし、図書館司書や先生方の思いが伝わる場所でもあります。

◇「おすすめの本」コーナー



宮古島市立下地小学校図書館

■上級生からの紹介

「ねえねえ1、2年生のみなさんに
4年生のおすすめの本だってよ」

小学校低学年のみなさんに上級生(4年生)から本の紹介です。本にはそれぞれ推薦した児童が書いたポップがついています。見出しやイラストもしっかり書かれていて、読んでみたくなります。

うるま市立中原小学校図書館

■保護者からの紹介

中原小学校図書館では、さらに保護者による「本の紹介」を実施しています。「うちのお母さんの紹介文だ!」「これ〇〇さんのお母さんだよ」など、子どもたちに好評でした。

保護者のおすすめの本紹介

読書まつりで、保護者のみなさまにおすすめの本を紹介していただきました。ステキな本の紹介をありがとうございました。本ととともに図書館前に展示したり、校内放送でも紹介しています。紙面の都合上ここではいくつか紹介させていただきます。お子さんと幸せな読書タイムにいかがでしょう。(本人確認が取れていませんので名前はイニシャルにしました。ご了承下さい)。

『おばけ桃の冒険』(評論社) (mさん)

小学生の頃に読んだ本で、私が今でも大好きで、子どもにもすすめた本です。作者のロアルド・ダールの想像力に夢中になりました。すこしブラックなファンタジーは、「起こらないかもしれないけど、起こったら…」という気持ちにさせてくれます。

映像化もされている作品ですが、活字でも映画でも楽しいです。ぜひ両方でロアルド・ダールの世界を味わってほしいと思います。

『もりいちばんのおともだち』(福音館書店)(Yさん)

小さなものが好きなクマさんと、大きなものが好きなヤマネくん。ふたりは、出会うと一目で気に入って、すぐになかよくなりました。ある日、森のケーキ屋さんの店長から苗をもらいました。クマさんは小さい苗、ヤマネ君は大きな苗をえらんでふたりは大事に育てはじめると思わぬ展開が!!

おたがいの違いを認め合い、思いやる気持ち。心がほっこりと暖かな気持ちに包まれます。

■近隣校との連携

鏡原中学校図書館は、近隣の小禄中学校図書館と金城中中学校図書館と連携して、「おすすめ本」を紹介しています。(良いと思ったおすすめ本紹介に生徒がスタンプを押します。)



■実物と本をセットで展示する

実物に触れることで興味がわき、興味がわいたところで本を手にとって、もっと調べてみようという行動につながる。一連の流れがスムーズにいくよう支援することで、4類や7類の本も読まれるようになります。

かんとつ か ようちゅう
おもしろ観察 (蚊の幼虫「ボウフラ」)

7/6 (月) 図書館で展示・観察しているペンケイソウの「根っこの方で何かかぐねかぐね動いているよ」と、図書館員さんがみつけました。

おも
なんとお思いますか・・・
か ようちゅう
蚊の幼虫「ボウフラ」です。



おしりの先に、息をするためのくだがあるので、頭を下にして息をしています。



私たちの身の回りにいる、蚊をはじめいろいろな害虫のことも知っている、対策もできますね。本もよんでみよう

※ 中原小学校の取組の詳細については、「小中学校図書館実践事例集」をご覧ください。

■高校入試に出題された小説

沖縄県内に限らず、高校入試に出題された小説を集めて展示しています。手に取ってもらえるように展示している本には紹介文を書いたカードといっしょに展示しています。



紹介文を書いたカードと
一緒に展示



■何を読んでいいのかわからない生徒に薦める本

新型コロナ感染拡大防止のため、返却された本を消毒している図書館は多いと思いますが、石垣中学校では、何を読んでいいのかわからない生徒に、消毒後一時保管している書棚にある本を薦めています。「誰かが借りて読んだ本」ということで、何を読んでいいかわからない生徒によく借りられるそうです。



カウンター近くに設置しており、生徒が「何を借りたらいいかわからない」と相談してきたときに薦めています。

消毒後の本を
置くところ

こわい本

■人気のある本は一か所にまとめて排架

「こわい本」はどの学校図書館でも人気の本です。石垣中学校では、このように一か所にまとめて排架しています。お目当ての本をすぐ手に取ることができるというのは利用者目線に立った工夫と言えるでしょう。



那覇市立那覇中学校図書館

くつろぎスペース



禁帯出の漫画や雑誌を一カ所にまとめて置く。休み時間ならば比較的自由的な利用が可能だが、授業中はその内容によって立ち入りを制限するなど、メリハリをつけている。



マンガは左のようにブックトラックに並べ、まとめて移動できるように工夫しています。

学習コーナー



出入り自由で比較的静かな場所を整備。自習や休憩に活用。



メインの出入り口とは別に、「学習コーナー」直結の出入り口を設置



「学習コーナー」はカウンター裏手にあり、静かな空間です。少人数で利用できるようになっており、休憩場所としても活用しています。

【給食コラボアイデアシート】

項目	他部署と連携	実施校	羽地給食センター 稲田小・真喜屋小・羽地小・羽地中・屋我地ひるぎ学園・緑風学園
タイトル	給食コラボ		
目的	本の中に出てくる料理を給食に登場させ、それを頂くことで、本の楽しさをより深く味わうとともに、食に関心をもたせ、読書活動・食育活動の双方の充実を図る。 給食センターとの連携を図る。		
時期	6月:本の選書と栄養士との打ち合わせ。 夏休み:投票に向けて各学校で準備 9月:投票・集計(読書月間等で取り組む)	10月:センターへ報告 11月:給食提供	
対象	全児童・生徒・職員		
用意する物	対象となる本(各学校購入) 給食コラボポスター 投票用紙・箱・シール等		
準備	各学校で給食コラボ周知のポスターを作成する。 <u>事前に本の購入をする。</u> 給食提供日を考える(いいたまごの日 1105 いい肉の日 1129 など)		
実施方法	<u>使用する本が決まり次第、著作物使用の申請をする。</u> 許可が下りたら、ポスター製作に取り掛かるが、ポスターの作り方、投票の仕方は、各学校に任せている。		
留意点	各学校の1位~3位の得票数を足し、総合1位を決定する。 <u>給食センターさん作成の、調理の様子を収めた動画を給食提供時に各学校で視聴する。</u>		
成果/課題 など	<p>【成果】</p> <p>回を重ねるごとに、子どもたちはもちろん、司書もその他職員、そしてセンターさんも楽しんで取り組むイベントになっている。また、給食センターとの連携も密になってきた。</p> <p>出版社とのやり取りの中で、作者と繋がる事が出来、オンラインで給食時間を共有することが出来た。</p> <p>12月までに取り組みを完了させることで、不測の事態(休校等)が起こった場合でも、年度内で取り組みに参加した全児童生徒への給食提供ができる。</p> <p>アイデアシートとして取り組み内容をデータでまとめ給食センターと共有することで取り組みに一体感が出てきた。また、栄養士や学校司書の人事異動の場合も引継ぎができ、継続した取り組みが可能。</p> <p>コラボを通して、給食センターのお仕事の様子が見え、より一層給食に感謝し頂くことが出来るようになった。</p> <p>【課題】</p> <p>本の選書が難しい。</p> <p>本の購入や、投票の関係で、1冊の中にいろんなメニューが登場する本が望ましいが本選びに苦戦してしまう。</p> <p>給食提供日を考え、逆算して投票・集計をしたい。</p>		
	<p>学校全体として、より取り組みに参加しやすいように、事前に投票用紙を各学級に配布するなど、投票方法について検討する。</p> <p>【過去作品】</p> <p>第1回(2018年度)パンのずかん/白泉社 大森裕子/作 井上好文/監修</p> <p>第2回(2019年度)魔女の宅急便他複数冊</p> <p>第3回(2020年度)にっぽんのおにぎり/理論社 白央 篤司/著</p> <p>第4回(2021年度)にくのくに/教育画劇 はらべこめがね/作</p> <p>第5回(2022年度)あれこれたまご/福音館書店 とりやま みゆき/文, 中の滋/絵</p>		

この「アイデアシート」何にでも応用できそうです。



書影を使用するため著作権に配慮しています。

子どもたちに調理の様子を伝えられるので、給食センターにとっても有意義な取り組みになっているのですね。



■図書館入口のフロアを活用したコーナー展示

子どもたちを図書館へと誘う役割も果たしています。



春におすすめの本



母の日コーナー



いったつもり〜ほんのたび〜



夏の怖い本コーナー

黒いビニールで仕切ってまるで幽霊屋敷のよう。



内部も ろうそくを飾ったり、蛍光灯に赤いセロハンを張り付けたりと、雰囲気を出しました。



■図書委員の児童が考えたオリジナルのコーナー

坂田小学校では図書委員会が図書館運営に携わっています。子どもたちが考えたコーナーを紹介します。

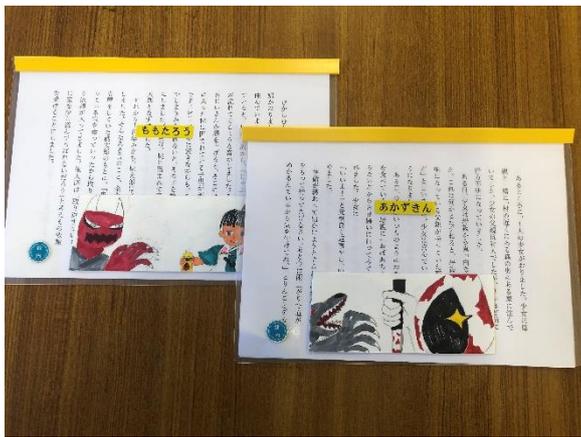


毎日入れ替わる動物の本と動物クイズコーナー



すみっこスペースを生かした人気の怖い本コーナー





館内用 自主製作本のコーナー

むかしばなしをオリジナルにアレンジしてちょっぴり怖いお話に大変身！！

図書館の利用時間に読む児童がたくさんいました。館内本券（館内の本が借りられる券）を持ってきて借りていこうとする児童もたくさんいて大好評でした。文章力もありかなりよい作品に仕上がったので、只今、続編を製作中です。

■子どもの発達段階を考慮したコーナー

「2年生の本だな」コーナー

4月には、絵本以外の本も借りることができるようになった2年生のために、少しでもステップアップした本を集めた「2年生の本だな」を設置しました。



■ちょっとした工夫で目を引く展示方法

司書のアイデアを紹介します。



あまいお菓子の本コーナー

毎年恒例のバレンタインデーにちなんだ展示。今年は、カフェ風に展示しました。図書委員手作りの「かんたんチョコレシピ」は、1人1枚すきなレシピがもらえます。

■番外編

先生方に読んでほしい本コーナー

「先生の本コーナー」

司書の私物の本を登録せず、カウンター横の小さい本棚に置いています。多忙な先生方に、気軽に、友だちから本を借りる感覚で借りてほしいと思っています。



坂田小学校の取組みは、学校別実践事例のところでも見ることができます！



沖縄県立図書館ホームページ「学校図書館支援」では、学校図書館の取組みについて情報提供します。内容については随時更新してまいります。